

老後

納得・安心の老後を送る

遺言書は必要か？

- ◎介護が必要になったときどうすればよいだろうか
- ◎自分の死後、誰がどのように葬儀をあげてくれるだろうか
- ◎お墓はシンプルなデザインのもので、海の見える霊園に立ててほしい
- ◎遺産の相続は誰にどのように分配しようか

こんなことを考えたことはないでしょうか。“老い”はすべての人に着実にやってきます。老後のことを事前に準備しておくことで、自分自身の不安の解消や家族にかかる負担の軽減にもつながります。

事前相談・生前予約のすすめ ～葬儀～

亡くなってからお葬式の準備を始めるということは、遺族にとって時間的にも精神的にもゆとりがなく、故人や家族の想いが込められない葬儀社主体の葬儀になってしまいがちです。また、費用のかかり過ぎなどといったトラブルは、考える間もない内にさまざまなことを決定しなければいけないことが起因しています。ほとんど経験したことがないお葬式の各種項目をすべて決め、完璧に行うのは難しいことです。

事前相談の最初のステップとして、お葬式の規模(参列者の人数)、形式(宗教)、場所、予算などについて、ある程度要望をまとめておきましょう。そしてそれを葬儀業者数社に伝え、見積書を依頼します。見積もりをとったら、予算をオーバーしていないか、削るとすればどこを削るのかなど、自分の要望によるお葬式の概算を把握することができます。

何社かを比較し、自分の要望と合う葬儀社を選定します。最近では会場見学会やお葬式セミナーなど、ユニークなイベントを催している葬儀社も多数あるので、そういった場に足を運んでみるのも参考になります。

葬儀に関する“事前相談”のメリット

- 自分の要望を把握することができる
- 希望に合ったお葬式ができる
- ゆっくり考え、交渉できる
- いざという時に落ち着いて行動できる
- 費用のかかり過ぎが防げる
- 事前に概算の費用を把握できる
- 葬儀社の言うことを理解しながら、自分のペースで進められる
- 細かい打ち合わせに忙殺されずに、ゆっくりお別れができる
- 葬儀社選びに時間がかけられる
- など、メリットはこんなにたくさんあります。

“古い支度”

を知っていますか？

ここ数年で“古い支度”という言葉が耳にするようになりました。自身の亡きあと、残された家族のために行う古い支度。家族の心の負担を少しでも軽減するためには、どんな準備が必要でしょうか。生きている今“だからこそできる”古い支度“について、大切な人のために少し考えてみましょう。



ファミリースペース東京塚

「つどう・語らう・心がかよう」をコンセプトに、故人・遺族の想いを汲み取ったお葬式が行えます。形式にとらわれない、新スタイルのお葬式に対応可能です。



①お葬式＝菊という概念に捉われず、故人が好きだった花で祭壇を飾る。その他BGMや趣味を反映しての演出も、事前相談で打ち合わせは
②焼香台もさまざまなスタイルで
③同社サークル「悠々倶楽部」では日帰りバスツアーやお葬式講座など、各種イベントを実施。生前予約で人生最期の不安を取り払い、残りの人生を悠々自適に楽しんで

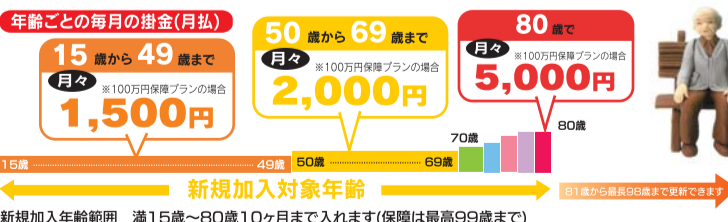
④スタッフ森翼さん：当社では、ご喪家様が大切な方との最期のお別れを悔いなくお過ごし頂けるようスタッフ全員が心掛けています。ご縁のあった方が集い、故人様の生前の思い出話に花を咲かせ、心ゆくまでお別れしていただく、それが当社の提供するお葬式のカタチ。これまでに無いご自宅感覚でご利用いただける会場や、白木の祭壇を使用せず、お好きだったお花などでコーディネートする祭壇など、是非一度、ご自身の目でお確かめになりませんか。

80歳まで入れます

保障は最高99歳まで
お申込は80歳10ヶ月まで

葬儀保険「千の風」募集開始

～あなたのために、そして大切なご家族のために～



お布施など宗教者への費用

当社の平均的葬儀費用 **51万円** ※1

100万円から
最高 **300万円まで保障**
(保険金定額タイプの場合)



- 加入審査も簡単
告知だけで、医師の診察を受けていただく必要はありません
- 保障金額は定額
加入期間の年月に関係なく死亡保険金が支払われます

※1 当社での実績(葬儀基本費用、料理、お返し、霊柩車、火葬料、式場費)等を含みます。(消費税、お布施などの宗教者費用は除きます)

1年更新型の保険で、一定期間の死亡保障を確保する満期保険金のない商品です
ご契約の内容は「商品パンフレット」「契約概要・注意喚起情報」「約款」などを必ずお読みください
引受保険会社 **ベル少額短期保険株式会社**